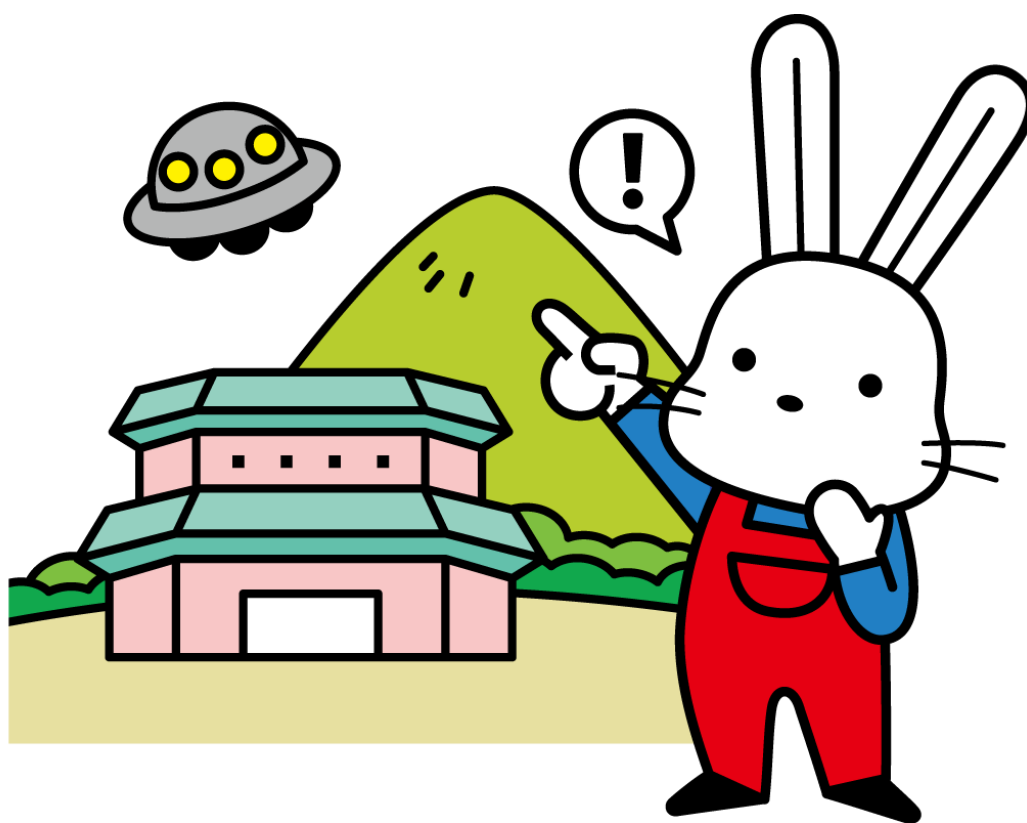


福島市議会の概要

令和4年度



福島市観光キャラクター ももりん

福島市議会

もくじ

市 勢

- 福島市の位置・地勢・気象、あゆみ P 3
- 人口、産業別人口、都市宣言 P 4

予 算 関 係

- 令和4年度 各会計別当初予算 P 5
- 令和4年度 一般会計当初予算 P 6-9
- 令和4年度 主要事業の紹介
 - 1. 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現 P 10-13
 - 2. 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進 P 13
 - 3. 災害対策の強化 P 14-15
 - 4. 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進 P 15-17
 - 5. 豊かな文化芸術の振興と発信 P 17
 - 6. 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築 P 18-19
 - 7. 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現 P 19-20
 - 8. 「福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり」 P 20-22
 - 9. 移住定住に向けた支援・受入態勢の強化 P 22
 - 10. 市民総活躍と市民共創のまちづくり P 22
 - 11. 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上 P 23
 - 12. ICTを活用した行政・経済・社会の変革 P 23

議 会

- 概要
 - 1. 議員数 P 24
 - 2. 構成 P 24
 - 3. 常任委員会 P 24
 - 4. 議会運営委員会 P 25
 - 5. 特別委員会 P 25
 - 6. 地方自治法第100条第12項に基づき設置される協議・調整の場 P 25
 - 7. 予算・決算・補正予算の審査方法 P 25
 - 8. 質疑・質問 P 26
 - 9. 議会開催状況 P 26
 - 10. 報酬 P 26
 - 11. 政務活動費 P 27
 - 12. 行政視察旅費 P 27
 - 13. 費用弁償等 P 27
 - 14. 福島市議会基本条例 P 27-28
 - 15. 議会事務局組織 P 28
- 福島市組織機構図 P 29-30
- 行政視察対応一覧 P 31
- 意見書・決議一覧 P 31

【福島市の位置・地勢・気象等】

北緯	37° 45' 39"
東経	140° 28' 26"
標高	65.68 m
面積	767.72 km ²
東西の距離	30.2 km
南北の距離	39.1 km



福島市は、福島県の北部に位置し、西は奥羽山脈に連なる吾妻連峰、東は丘陵状の阿武隈高地に囲まれた福島盆地の中心に開けており、南北に阿武隈川が流れている。市域の中心には信夫山が位置し、これを取り巻くように市街地が広がっている。気候は内陸性気候であり、典型的な盆地気候の特徴を示す。四季の寒暖の差が激しく、夏は暑く冬は寒い。降水量は6月に多く2月に少ない夏雨型になっている。暖地性、寒地性の果物の両方が栽培され、サクランボ、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴ、カキと四季折々の果実が収穫され、全国有数の果物の産地となっている。

【福島市のあゆみ】

明治40年(1907)	市制施行(全国59番目)	平成 8年(1996)	「防災協定」締結
大正14年(1925)	上水道竣工	9年(1997)	市制施行90周年
昭和18年(1943)	市役所火災	10年(1998)	保健福祉センター落成
24年(1949)	奥羽線福島～米沢間電化	11年(1999)	リサイクルプラザ落成
27年(1952)	市役所庁舎新築	12年(2000)	総合防災情報システム稼働
	第7回国体開催	13年(2001)	平和通り地下駐車場供用開始
32年(1957)	市制施行50周年	14年(2002)	福島市男女共同参画推進条例制定
34年(1959)	公会堂落成	15年(2003)	産業交流プラザ開設
	スカイライン開通	16年(2004)	消費生活センター開設
35年(1960)	東北本線	17年(2005)	こむこむ館開設
	上野～福島間電化	18年(2006)	十六沼サッカー場オープン
45年(1970)	信夫山トンネル開通	19年(2007)	市制施行100周年
46年(1971)	路面電車廃止	20年(2008)	飯野町と合併
47年(1972)	中央卸売市場開場	21年(2009)	福島市名誉市民 古関裕而氏生誕100年
48年(1973)	市民憲章制定	22年(2010)	アクティブシニアセンターオープン
50年(1975)	東北縦貫自動車道開通	23年(2011)	市役所新庁舎東棟開庁
51年(1976)	人口25万人突破		東日本大震災発生
55年(1980)	75年ぶりの大冷夏	24年(2012)	屋内遊び場さんどパーク開設
57年(1982)	東北新幹線開通	25年(2013)	ぴよんぴよんドーム開設
59年(1984)	音楽堂落成		東北六魂祭を本市で開催
63年(1988)	阿武隈急行全線開通	26年(2014)	中央卸売市場を公設地方卸売市場に転換
平成 元年(1989)	パセオ470竣工		日本陸上競技選手権大会を本市で開催
2年(1990)	放置自転車防止条例施行	27年(2015)	松川支所、松川学習センター落成
3年(1991)	ハルシラント 福島落成	28年(2016)	荒川区と友好都市協定を締結
4年(1992)	飯坂温泉観光会館落成	30年(2018)	中核市へ移行
5年(1993)	地方拠点都市地域指定	令和元年(2019)	東北絆まつりを本市で開催
6年(1994)	国体記念体育館落成	2年(2020)	東京2020オリンピック・パラリンピック1年延期
7年(1995)	第50回福島国体開催	3年(2021)	東京2020オリンピック・パラリンピック開催

○ 人 口 等

区 分	市制施行当時	平成2年国勢調査 平成2年10月1日現在	推 計 人 口 令和4年4月1日現在	住 基 人 口 令和4年3月31日現在
人 口	32,524 人	282,693 人	280,466 人	271,798 人
男性	16,357 人	138,190 人	137,234 人	131,973 人
女性	16,167 人	144,503 人	143,232 人	139,825 人
世 帯	5,582 世帯	121,919 世帯	125,583 世帯	124,095 世帯

○ 産 業 別 人 口 (国勢調査結果から)

区分	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能	合 計
平成7年	10,389人	7.1%	40,277人	27.7%	94,432人	65.0%	257人	145,355人
平成12年	8,954人	6.2%	38,628人	26.9%	94,875人	65.9%	1,407人	143,864人
平成17年	8,280人	5.9%	31,943人	22.9%	96,875人	69.6%	2,161人	139,259人
平成22年	6,161人	4.7%	29,906人	22.6%	90,159人	68.1%	6,187人	132,413人
平成27年	5,644人	4.0%	32,308人	23.0%	96,449人	68.7%	6,034人	140,435人

○ 都 市 宣 言

『交通安全都市宣言』 昭和36年12月14日議決

『平和都市宣言』 昭和48年 3月22日議決

『核兵器廃絶平和都市宣言』 昭和60年12月26日議決

『ゆとり宣言』 平成 2年 6月21日議決

『地球環境の保全宣言』 平成 5年 3月19日議決

『交通安全都市宣言』 平成10年 9月22日議決

令和4年度各会計別当初予算

【単位：千円、％】

会計区分		令和4年度	令和3年度	比較	
				増△減	増減率
一般会計		115,900,000	112,300,000	3,600,000	3.2
特別会計	1 国民健康保険事業費	23,472,993	23,325,384	147,609	0.6
	2 飯坂町財産区	117,176	96,957	20,219	20.9
	3 公設地方卸売市場事業費	210,733	283,703	△ 72,970	△ 25.7
	4 土地区画整理事業費	18,782	29,386	△ 10,604	△ 36.1
	5 介護保険事業費	27,579,986	27,572,327	7,659	0.0
	6 庁舎整備基金運用	1,001,000	1,001,000	0	0.0
	7 後期高齢者医療事業費	3,964,342	3,665,859	298,483	8.1
	8 青木財産区	1,854	1,854	0	0.0
	9 工業団地整備事業費	53,547	122,288	△ 68,741	△ 56.2
	10 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	19,366	13,909	5,457	39.2
計		56,439,779	56,112,667	327,112	0.6
水道事業会計		11,214,478	10,471,515	742,963	7.1
下水道事業会計		14,178,487	12,840,855	1,337,632	10.4
農業集落排水事業会計		283,317	283,858	△ 541	△ 0.2
合計		198,016,061	192,008,895	6,007,166	3.1

令和4年度一般会計当初予算

〔科目別歳入〕

【単位：千円、％】

款 別	令和4年度		令和3年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 市税	40,000,000	34.5	36,000,000	32.1	4,000,000	11.1
2 地方譲与税	1,079,813	0.9	1,016,352	0.9	63,461	6.2
3 利子割交付金	30,000	0.0	26,000	0.0	4,000	15.4
4 配当割交付金	110,000	0.1	88,000	0.1	22,000	25.0
5 株式等譲渡所得割交付金	55,000	0.0	56,000	0.0	△ 1,000	△ 1.8
6 法人事業税交付金	684,000	0.6	480,000	0.4	204,000	42.5
7 地方消費税交付金	7,018,000	6.1	6,520,000	5.8	498,000	7.6
8 ゴルフ場利用税交付金	6,000	0.0	5,000	0.0	1,000	20.0
9 環境性能割交付金	76,000	0.1	66,000	0.1	10,000	15.2
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,906	0.0	1,967	0.0	△ 61	△ 3.1
11 地方特例交付金	240,169	0.2	2,644,000	2.4	△ 2,403,831	△ 90.9
12 地方交付税	10,800,000	9.3	8,700,000	7.7	2,100,000	24.1
13 交通安全対策特別交付金	42,000	0.0	41,000	0.0	1,000	2.4
14 分担金及び負担金	611,383	0.5	605,472	0.5	5,911	1.0
15 使用料及び手数料	1,545,919	1.3	1,569,537	1.4	△ 23,618	△ 1.5
16 国庫支出金	23,144,039	20.0	19,396,105	17.3	3,747,934	19.3
17 県支出金	12,509,327	10.8	12,605,150	11.2	△ 95,823	△ 0
18 財産収入	430,204	0.4	180,134	0.2	250,070	138.8
19 寄附金	1,661,764	1.4	1,271,617	1.1	390,147	30.7
20 繰入金	2,945,659	2.6	3,463,337	3.1	△ 517,678	△ 14.9
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
22 諸収入	2,304,516	2.0	2,744,228	2.5	△ 439,712	△ 16.0
23 市債	10,604,300	9.2	14,820,100	13.2	△ 4,215,800	△ 28.4
合 計	115,900,000	100.0	112,300,000	100.0	3,600,000	3.2

<主な増減理由>

- 1 市税 400億円 (+40億円 +11.1%)
 - 市民税 180億1,000万円 (+11億7,100万円)
 - ・ 製造業の設備投資の増加や金融機関の増益の見込みにより増
 - 固定資産税 163億5,800万円 (+ 24億5,600万円)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策による特例減免(家屋・償却資産)の終了や土地評価額の据置措置の一部廃止による増
 - ・ 新築家屋分による増
- 12 地方交付税 108億円 (+21億円 +24.1%)
 - 普通交付税 95億円 (+23億円)
 - ・ 国の地方財政計画を反映した臨時財政対策債振替相当額の減による増
 - ※ 市税の増等により臨時財政対策債振替前の財源不足額は減少(△10億円)
- 16 国庫支出金 231億4,404万円 (+37億4,793万円 +19.3%)
 - 新型コロナウイルスワクチン接種関連補助金 14億8,071万円 (皆増)
 - 都市再開発事業費補助金(福島駅東口地区市街地再開発関連 25億1,900万円 (+10億592万円)
 - 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 11億951万円 (+8,325万円)
- 23 市債 106億430万円 (対前年度比 △42億1,580万円 △28.4%)
 - 臨時財政対策債 34億円 (△33億円)
 - ・ 国の地方財政計画における臨時財政対策債の減
 - 事業充当の市債 72億430万円 (△9億1,580万円)
 - ・ 新最終処分場や地域振興施設「道の駅ふくしま」の整備完了による減
 - ・ 世代間の公平性に配慮しながらも、地方交付税措置のある有利な市債に厳選したことによる減

[自主・依存財源の内訳]

【単位：千円、％】

区 分		令和4年度			令和3年度		増 △減	
		予算額	構成比	除染事業を除く	予算額	構成比	予算額	増減率
自主財源	市税	40,000,000	34.5	35.5	36,000,000	32.1	4,000,000	11.1
	分担金及び負担金	611,383	0.5	0.5	605,472	0.5	5,911	1.0
	使用料及び手数料	1,545,919	1.3	1.4	1,569,537	1.4	△ 23,618	△ 1.5
	財産収入	430,204	0.4	0.4	180,134	0.2	250,070	138.8
	寄附金	1,405,785	1.2	1.3	1,005,817	0.9	399,968	39.8
	繰入金	2,945,659	2.5	2.6	3,463,337	3.1	△ 517,678	△ 14.9
	繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	0	0.0
	諸収入	2,264,626	2.0	2.0	2,597,277	2.3	△ 332,651	△ 12.8
	小 計	49,203,577	42.4	43.7	45,421,575	40.5	3,782,002	8.3
依存財源	地方譲与税	1,079,813	0.9	1.0	1,016,352	0.9	63,461	6.2
	利子割交付金	30,000	0.0	0.0	26,000	0.0	4,000	15.4
	配当割交付金	110,000	0.1	0.1	88,000	0.1	22,000	25.0
	株式等譲渡所得割交付金	55,000	0.1	0.1	56,000	0.1	△ 1,000	△ 1.8
	法人事業税交付金	684,000	0.6	0.6	480,000	0.4	204,000	42.5
	地方消費税交付金	7,018,000	6.1	6.2	6,520,000	5.8	498,000	7.6
	ゴルフ場利用税交付金	6,000	0.0	0.0	5,000	0.0	1,000	20.0
	環境性能割交付金	76,000	0.1	0.1	66,000	0.1	10,000	15.2
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,906	0.0	0.0	1,967	0.0	△ 61	△ 3.1
	地方特例交付金	240,169	0.2	0.2	2,644,000	2.4	△ 2,403,831	△ 90.9
	地方交付税	10,800,000	9.3	9.6	8,700,000	7.7	2,100,000	24.1
	交通安全対策特別交付金	42,000	0.0	0.0	41,000	0.0	1,000	2.4
	国庫支出金	23,144,039	20.1	20.6	19,396,105	17.3	3,747,934	19.3
	県支出金	12,509,327	10.8	8.2	12,605,150	11.2	△ 95,823	△ 0.8
	寄附金	255,979	0.2	0.2	265,800	0.2	△ 9,821	△ 3.7
	諸収入	39,890	0.0	0.0	146,951	0.1	△ 107,061	△ 72.9
市債	10,604,300	9.1	9.4	14,820,100	13.2	△ 4,215,800	△ 28.4	
小 計	66,696,423	57.6	56.3	66,878,425	59.5	△ 182,002	△ 0.3	
合 計	115,900,000	100.0	100.0	112,300,000	100.0	3,600,000	3.2	

※ 除染関連事業にかかる財源3,240,000千円を除いた場合は、自主財源比率43.7%、依存財源56.3%の割合となります。

[科目別歳出]

【単位：千円、％】

款 別	令和4年度		令和3年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 議 会 費	644,786	0.6	657,484	0.6	△ 12,698	△ 1.9
2 総 務 費	11,630,263	10.0	11,198,369	10.0	431,894	3.9
3 民 生 費	43,276,119	37.3	42,065,726	37.4	1,210,393	2.9
4 衛 生 費	11,470,389	9.9	11,119,570	9.9	350,819	3.2
5 労 働 費	167,275	0.1	108,695	0.1	58,580	53.9
6 農林水産業費	2,044,088	1.8	2,072,231	1.8	△ 28,143	△ 1.4
7 商 工 費	2,954,343	2.5	3,852,872	3.4	△ 898,529	△ 23.3
8 土 木 費	15,377,159	13.3	13,210,114	11.8	2,167,045	16.4
9 消 防 費	3,179,362	2.7	3,341,766	3.0	△ 162,404	△ 4.9
10 教 育 費	12,252,775	10.6	11,638,603	10.4	614,172	5.3
11 災 害 復 旧 費	3,240,000	2.8	4,266,000	3.8	△ 1,026,000	△ 24.1
12 公 債 費	9,363,441	8.1	8,468,570	7.5	894,871	10.6
13 予 備 費	300,000	0.3	300,000	0.3	0	0.0
合 計	115,900,000	100.0	112,300,000	100.0	3,600,000	3.2

<主な増減理由>

- 2 総 務 費 ふるさと納税促進事業費の増
(仮称) 市民センター整備費の増
- 3 民 生 費 障害者自立支援事業費の増
住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費の増
- 7 商 工 費 地域振興施設「道の駅」整備事業費の減
中小企業振興預託金の減
- 8 土 木 費 福島駅東口地区市街地再開発事業費の増
- 10 教 育 費 ふくしま支援学校校舎等改築事業費の増
学校施設リフレッシュ事業費の増
- 11 災 害 復 旧 費 除去土壌搬出等推進事業費の減

[性質別歳出]

【単位：千円、％】

性質別	令和4年度		令和3年度		増△減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
義務的経費						
人件費	19,339,338	16.7	19,401,757	17.3	△ 62,419	△ 0.3
扶助費	26,412,569	22.8	25,973,839	23.1	438,730	1.7
公債費	9,367,508	8.1	8,472,637	7.5	894,871	10.6
小計	55,119,415	47.6	53,848,233	47.9	1,271,182	2.4
消費的経費						
物件費	20,545,049	17.7	18,138,997	16.2	2,406,052	13.3
維持補修費	1,610,065	1.4	1,693,774	1.5	△ 83,709	△ 4.9
補助費等	9,234,318	8.0	8,648,199	7.7	586,119	6.8
小計	31,389,432	27.1	28,480,970	25.4	2,908,462	10.2
投資的経費						
普通建設事業費(補助)	10,023,660	8.6	9,534,997	8.5	488,663	5.1
普通建設事業費(単独)	4,953,128	4.3	4,969,310	4.4	△ 16,182	△ 0.3
小計	14,976,788	12.9	14,504,307	12.9	472,481	3.3
災害復旧費						
災害復旧費(補助)	3,240,000	2.8	4,216,000	3.7	△ 976,000	△ 23.1
災害復旧費(単独)	17,479	0.0	67,479	0.1	△ 50,000	△ 74.1
小計	3,257,479	2.8	4,283,479	3.8	△ 1,026,000	△ 24.0
その他						
積立金	173,832	0.1	62,870	0.1	110,962	176.5
投資及び出資金	90	0.0	100	0.0	△ 10	△ 10.0
貸付金	920,736	0.8	1,128,240	1.0	△ 207,504	△ 18.4
繰出金	9,762,228	8.4	9,691,801	8.6	70,427	0.7
予備費	300,000	0.3	300,000	0.3	0	0.0
小計	11,156,886	9.6	11,183,011	10.0	△ 26,125	△ 0.2
合計	115,900,000	100.0	112,300,000	100.0	3,600,000	3.2

<主な増減理由>

扶助費	障害者自立支援事業費の増
公債費	長期債償還元金の増
物件費	新型コロナウイルスワクチン接種・体制確保事業の増 PCR検査事業費の増 ふるさと納税促進事業費の増
補助費等	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費の増 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例補助金の増
普通建設費	福島駅東口地区市街地再開発事業費の増 小・中学校屋内運動場改築事業費の増 ふくしま支援学校校舎等改築事業費の増 新最終処分場整備事業費の減 高齢者福祉施設整備費補助金の減
災害復旧費	除去土壌搬出等推進事業費の減
積立金	減債基金積立金の増
貸付金	中小企業振興預託金の減

[令和4年度 主要事業の紹介]


主要事業（新規事業、拡充した事業）を分野ごとに紹介します。

記号欄の説明 ◎…新規事業、○…一部新規及び事業の拡充（説明欄中下線の部分）

1 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現

(1)「子育てするなら福島市」の実現

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
待機児童対策推進パッケージ			
	保育アテンダント事業	5,307	保育施設等の利用を希望する保護者の相談に応える専任相談員2名)を配置し、保護者のニーズに寄り添ったよりきめ細かなマッチングを進めます。
○	幼稚園送迎ステーションの運営	13,254	私立幼稚園の開園時間前後に預かり保育を行い、登録幼稚園に送迎する「送迎ステーション」を運営します。 ・定員：20名 ・開設時間： 朝 7:30～9:00 夕 16:00～19:30 (R3:17:00～) 
	保育士宿舎借り上げ支援	26,550	宿舎を借り上げる保育施設(22施設)に対し、費用の一部を補助します。
○	保育支援員雇用支援	48,000	保育士の業務をサポートする支援員を雇用する保育施設に対し、費用の一部を補助します。(R3:35施設⇒R4:40施設)
	UIJ ターン 保育士等就労支援	2,000	県外から本市に転入して就労する保育士・幼稚園教諭に対し、就労支援金を交付します。(上限20万円)
○	保育士等奨学資金貸付	45,536	保育士や幼稚園教諭を目指す学生に対し、就学に必要な資金の一部を無利子で貸し付けます。(R3:74名⇒R4:78名)
○	保育士するなら福島市！プロモーション	3,072	保育士養成校と連携した就職相談会やオンラインでの就職セミナー、高校生の保育士体験、PR動画によるSNSでのプロモーション等を実施します。
子ども・子育て新ステージ2020推進事業			
	休日保育	9,351	休日保育を実施するほか、認可外保育施設等に在籍する児童が休日保育を利用する場合、費用の一部を補助します。
	病児・緊急対応強化 (ファミリーサポートセンター事業)	11,500	病児・病後児や深夜・早朝、宿泊を伴う緊急預かりを実施します。
	特色ある幼児教育・保育の推進	12,726	特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して費用の一部を補助し、豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援します。 また、事業のPR動画を作成し、子育て世代の定住人口拡大につなげます。
	保育施設多子世帯負担軽減	56,356	満18歳以下の子どもが2人以上いる世帯に対し、所得に応じて第2子以降の認可保育施設の保育料を軽減します。(第2子：半額、第3子：無料)
	放課後児童クラブ多子世帯利用料補助	37,776	満18歳以下の子どもが2人以上いる世帯に対し、所得に応じて第2子以降の放課後児童クラブ利用料を軽減します。(第2子：月2千円、第3子以降：月4千円)
	福島型給食の推進	323,602	学校や保育施設等における給食に本市産農産物の使用拡大を図るとともに、給食費の負担軽減を図り、子どもたちの思い出に残る給食を提供します。
	放課後児童クラブ支援員等処遇改善	155,232	放課後児童クラブの質の向上を図るため、支援員等の処遇改善措置に対して補助します。
◎	保育士等処遇改善	297,902	保育士、幼稚園教諭、放課後児童支援員、母子生活支援施設職員等の賃金引上げ(3%程度)に必要な支援を行います。

(1)「子育てするなら福島市」の実現 ※前頁の続き

記号	事業名	予算額	説明
	公立保育所運営	1,207,010	公立保育所における保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かりを実施します。(11か所)
	市立認定こども園運営	466,975	市立認定こども園における教育・保育のほか、延長保育や障がい児保育を実施します。(3園)
	私立保育所運営	4,025,030	私立保育所における保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり、病児保育(体調不良児対応型)を実施します。(34園)
	私立認定こども園運営	1,553,194	私立認定こども園における教育・保育のほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり、病児保育(体調不良児対応型)を実施します。(12園)
	地域型保育施設運営	980,125	地域型保育施設における保育のほか、延長保育を実施します。(22園)
○	保育所等における事故防止の推進	11,117	専門職による巡回支援指導や園外活動時の見守り強化のほか、保育所周辺のキッズゾーン内に注意喚起のための路面標示(2カ所)を設置します。
◎	保育の質の向上	140	「福島市保育の質ガイドライン」を作成し、保育の質の向上を図ります。
◎	児童養護施設の整備	12,426	児童養護施設(1施設)の改築費用の一部を補助し、良好な施設環境整備を促進します。
	妊産婦支援の充実		
	産前・産後サポート	4,958	不安や孤独感を抱える妊産婦に寄り添い、安心して出産子育てができるよう、専門職を配置し支援体制を強化します。(1名) また、子育て経験者による家庭訪問型支援(ホームスタート)を公民連携により実施します。
○	産後ケア	9,866	心身の不調や育児不安のある産婦が安心して子育てができるよう、ショートステイやデイケアによる支援を行うほか、生後2ヵ月以内の乳児家庭へ専門職による全戸訪問を実施します。
	妊婦のPCR検査支援	26,000	安心して出産できるよう、希望する妊婦に対してPCR検査を実施します。
◎	任意予防接種助成(おたふくかぜ)	7,327	感染力が強く、罹患すると重度障害が残る可能性のあるおたふくかぜについて、予防接種費用の一部を助成します。(1回のみ 4,000円)
	地域子育て支援拠点の運営	237,932	地域子育て支援センター(23カ所)を運営し、地域における子育て相談や子育て情報を提供します。
	子ども・若者育成支援		
○	地域における子どもの居場所づくり支援	3,880	「子どもの居場所づくりバックアップ本部」のフードバンクとしての機能を強化し、子どもの居場所づくり活動を支援します。
	子育て関連施設感染防止対策支援	136,450	保育施設、幼稚園、放課後児童クラブなどの子育て関連施設において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら事業が継続できるよう支援します。
	結婚新生活支援		
◎	恋きゅん ネット ◆恋活エール事業	2,200	結婚を希望する独身男女に対し、コロナ禍における非接触型のリモート婚活イベントを実施します。
	結婚新生活支援	43,650	新婚世帯の住宅の取得や貸借費用(敷金・礼金・家賃等)及び引越費用等の一部を補助します。 ①マイホーム購入・リフォーム 30万円 ②賃貸住宅スタートアップ 15万円 ③家賃最長3年間 72万円(3年は市独自)

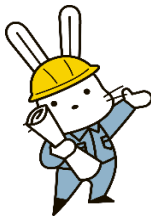
(2)教育の質の充実

記号	事業名	予算額	説明
○	福島型オンライン授業	485,531	児童生徒1人1台の端末をすべての教科、多くの授業で活用し、R4は英語等のデジタル教科書を使用するなど新たな学びを取り入れ、情報活用能力の育成を図ります。
	頑張るふくしまっ子 復興夢応援	2,000	頑張るふくしまっ子復興夢応援基金を活用し、全国大会等で優秀な成績をおさめた市内の小・中学校に対し、学校活動の推進に必要な備品等を交付します。
	中学生 ドリームチャレンジ	4,600	「キャリア教育部門」として著名人による講演会、「部活動部門」としてプロサッカーチームによる部活動指導を実施し、可能性に挑戦する子どもを育成します。
	語学指導を行う 外国青年の招致	100,311	外国青年(ALT)を幼稚園、認定こども園、小・中学校へ派遣します。(19名)
	外国語活動支援事業	11,208	外国語活動支援協力員(EAA)を小学校へ派遣します。(20名)
	学力向上のサポート	11,718	学習支援員を配置し、生徒一人一人へ個に応じた手厚い指導を実施します。(11名)
	中学生ドリームアップ	8,619	中学校2年生を対象にした職場体験活動や1年生の事前学習、3年生の進路選択に向けた進路学習など、3年間の系統をもたせたカリキュラムを実施し、将来への「夢」と「志」をはぐくみます。




(3)学びの環境の充実

記号	事業名	予算額	説明																																										
○	新学校給食センター 整備	50,561	PFI方式を導入し、整備・運営事業者の選定を行うとともに土地の造成工事を実施します。(R7.4月稼働予定)																																										
○	小・中学校 屋内運動場改築	913,840	<p>小・中学校屋内運動場の改築を進めます。</p> <p>○屋内運動場改築工事 (4校・4棟) 瀬上小、余目小、西信中、渡利中</p> <table border="1"> <tr> <td>(瀬上小)</td> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>397,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>151,120千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>87,080千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>158,800千円</td> </tr> <tr> <td>(余目小)</td> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>297,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>178,200千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R5</td> <td>118,800千円</td> </tr> <tr> <td>(西信中)</td> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>389,100千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>173,640千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>59,820千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>155,640千円</td> </tr> <tr> <td>(渡利中)</td> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>367,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>220,200千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R5</td> <td>146,800千円</td> </tr> </table>	(瀬上小)	全体事業費 (継続費分)	397,000千円		R2	151,120千円		R3	87,080千円		R4	158,800千円	(余目小)	全体事業費 (継続費分)	297,000千円		R4	178,200千円		R5	118,800千円	(西信中)	全体事業費 (継続費分)	389,100千円		R2	173,640千円		R3	59,820千円		R4	155,640千円	(渡利中)	全体事業費 (継続費分)	367,000千円		R4	220,200千円		R5	146,800千円
(瀬上小)	全体事業費 (継続費分)	397,000千円																																											
	R2	151,120千円																																											
	R3	87,080千円																																											
	R4	158,800千円																																											
(余目小)	全体事業費 (継続費分)	297,000千円																																											
	R4	178,200千円																																											
	R5	118,800千円																																											
(西信中)	全体事業費 (継続費分)	389,100千円																																											
	R2	173,640千円																																											
	R3	59,820千円																																											
	R4	155,640千円																																											
(渡利中)	全体事業費 (継続費分)	367,000千円																																											
	R4	220,200千円																																											
	R5	146,800千円																																											



(3) 学びの環境の充実※前頁の続き

記号	事業名	予算額	説明																
	ふくしま支援学校 校舎等改築	612,937	管理棟等の改築工事を実施します。 ○管理棟・屋内運動場 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>966,000千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>95,700千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>93,063千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>612,937千円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>164,300千円</td> </tr> </table>	全体事業費 (継続費分)	966,000千円	R2	95,700千円	R3	93,063千円	R4	612,937千円	R5	164,300千円						
全体事業費 (継続費分)	966,000千円																		
R2	95,700千円																		
R3	93,063千円																		
R4	612,937千円																		
R5	164,300千円																		
○	松陵中学校 (松川地区義務教育 学校)改築 	379,824	本市初の義務教育学校開校へ向け、杭工事や改築工事に着手します。 ○改築基本・実施設計 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>210,000千円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>42,000千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>126,000千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>42,000千円</td> </tr> </table> ○校舎等改築工事 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>2,390,000千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>337,824千円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,373,913千円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>678,263千円</td> </tr> </table>	全体事業費 (継続費分)	210,000千円	R2	42,000千円	R3	126,000千円	R4	42,000千円	全体事業費 (継続費分)	2,390,000千円	R4	337,824千円	R5	1,373,913千円	R6	678,263千円
全体事業費 (継続費分)	210,000千円																		
R2	42,000千円																		
R3	126,000千円																		
R4	42,000千円																		
全体事業費 (継続費分)	2,390,000千円																		
R4	337,824千円																		
R5	1,373,913千円																		
R6	678,263千円																		
◎	学校施設リフレッシュ	368,800	学校施設の屋上防水や外壁改修工事、屋内運動場の屋根改修を実施します。 また、施設の改築・長寿命化に向けた調査に着手します。 ○校舎屋上防水及び外壁改修 清水小、杉妻小 ○屋内運動場屋根改修 笹谷小、清水中、平野中 ○劣化度調査 飯坂小 ○耐力度調査 三河台小																
○	いじめ・不登校対応推進	8,501	生徒支援教員を増員し、市内の不登校生徒が多い学校に配置します。(R3:5校⇒R4:8校)																
	特別支援教育の推進	162,416	肢体不自由や発達障がい等の児童生徒の学習を支援するため、特別支援教育協力員及び支援員を配置します。(協力員47名、支援員51名)																
	学校図書館の図書整備	17,838	学校図書館図書を更新し、子どもが最新の良書に触れ、本を手に取りやすい環境を整備します。																
○	子どもの学習・生活支援	3,039	学習環境が整わない生活困窮世帯の中学生を対象に、大学生の協力も得ながら、学習支援員による学びの機会・場所を提供します。																

2 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進

(1) 放射線対策の推進

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
	除去土壌搬出等推進	3,240,000	中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場の原状回復を行います。 個別の事情により搬出が未了となっている除去土壌の現場保管を解消します。
	ふくしま森林再生	149,818	原子力災害により停滞した森林整備と放射性物質対策を進めます(東部地区、西地区、吾妻地区)

(2) 風評払拭に向けた取り組みの推進

【単位：千円】

記号	事業名	予算額	説明
○	福島駅前軽トラ市の開催	10,000	福島駅前での観光客や地元消費者に対し、軽トラの荷台等で農産物や加工品の対面販売を行います。(年4回) また、Web版の軽トラ市も併せて行い、本市農産物の魅力を全国へ発信します。
◎	地域振興施設「道の 駅ふくしま」管理運営	62,028	4月に「道の駅ふくしま」がオープンします。 併設の屋内こども遊び場の運営や季節ごとのイベント等を実施し、地域振興の拠点として、年間来場者数133万人を目指します。

3 災害対策の強化

(1) 台風等による水害対策の強化

記号	事業名	予算額	説明
	農業水路等の 長寿命化・防災減災	17,043	老朽化した農業水利施設を更新します。
◎	田んぼダム機能検証	1,500	田んぼダムを整備し、大雨時に河川への雨水流出量を抑制する効果を検証します。
○	信夫山排水区 (祓川)浸水対策 【3月補正前倒し分】	193,000 (52,000)	御山町地区における雨水渠の改修工事を実施します。 また、その上流部において、シールド工法による地下雨水渠整備の詳細設計に着手し、祓川沿線の浸水被害軽減を図ります。 ※費用の一部を3月補正に前倒しします。

(2) 地震による建築物等の被害への対策強化

記号	事業名	予算額	説明
	木造住宅耐震化促進	19,645	S56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震診断・改修・建替工事費用の一部を補助します。 (耐震診断：50戸、耐震改修等：12戸)
	橋梁補修・耐震化 【3月補正前倒し分】	630,000 (78,000)	橋梁の補修工事及び耐震補強工事を実施します。 (羽山陸橋、蓬萊橋、女神橋、ほか59橋) ※重要橋梁(77橋)の耐震化率(R3現在：53.2%⇒R7目標：66.2%) ※費用の一部を3月補正に前倒しします。


(3) 雪害対策の強化

記号	事業名	予算額	説明
	<u>除雪力強化パッケージ</u>		
	凍結防止剤散布 体制の充実	4,600	凍結防止剤散布車を新たに2台リースし、凍結防止剤散布体制の充実を図ります。(体制：3台⇒5台)
	除雪技術向上に関する 研修会参加への助成	200	委託業者の除雪機械オペレーターの技術向上に向けた研修会参加費用の一部を助成します。(1人あたり10千円)

(4) 災害時の情報収集伝達体制等の強化

記号	事業名	予算額	説明
	<u>要援護者支援パッケージ</u>		
○	避難行動要支援者の支援 (旧災害時要援護者)	32,964	災害時の避難に支援を要する方を地域で円滑に支援することができるよう、避難行動要支援者の新規登録勧奨や登録台帳の整備を実施します。 また、福祉専門職や各地域の方と協力し、より実効性の高い個別避難支援プランへの整備を進めます。
◎	ペット同伴 避難所開設運営	3,000	ペットと暮らしている飼い主が災害発生時に躊躇なく避難できるよう、「ペット同伴避難所」に必要な物品(ケージ、リードフック等)を整備します。
	<u>防災意識醸成・危機対応力向上“リモート動画リアル体験”パッケージ</u>		
◎	リモート動画& リアル体験メニューの作成	3,500	幅広い年代で「気軽に、楽しみながら防災について学び、体験する」動画や、誰もが参加しやすい防災訓練・防災運動会を開催します。

(5) 感染症に対応した避難支援の強化

記号	事業名	予算額	説明
○	避難所対策 	47,000	避難所運営時に必要となる消毒液やエアマットを購入するほか、備蓄品を保管する防災備蓄倉庫を整備します。 (4カ所：古閑裕而記念館北側駐車場、吉井田小学校、岡山小学校、清水中学校)

(6)消防救急体制の充実

記号	事業名	予算額	説明															
◎	12誘導心電図 伝送システムの整備	7,578	救急車に12誘導心電図伝送装置を配備し、リアルタイムに心電図を病院と共有し救急患者の救命率向上を目指します。 (県内初) (3台導入)															
○	消防団員 出動報酬の改定	3,564	従来の費用弁償を出動報酬に改め、1日あたりの支給額を増額し、消防団員の処遇を改善します。 (災害時の出動報酬)															
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動時間</th> <th>2時間未満</th> <th>4時間未満</th> <th>6時間未満</th> <th>6時間以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改定前</td> <td colspan="4">一律 2,000円</td> </tr> <tr> <td>改定後</td> <td>2,000円</td> <td>4,000円</td> <td>6,000円</td> <td>8,000円</td> </tr> </tbody> </table>	活動時間	2時間未満	4時間未満	6時間未満	6時間以上	改定前	一律 2,000円				改定後	2,000円	4,000円	6,000円	8,000円
活動時間	2時間未満	4時間未満	6時間未満	6時間以上														
改定前	一律 2,000円																	
改定後	2,000円	4,000円	6,000円	8,000円														
○	消防車両等の更新	58,647	高規格救急自動車等を定期的に更新し、市民の安全・安心を確保します。(高規格救急自動車1台、指揮車1台)															

4 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進

(1)健都ふくしまの実現

記号	事業名	予算額	説明
	健都ふくしま創造事業		
	食環境整備・食育の推進	3,636	市民の「食」を選択し実践する力＝「食力」が身につくよう、家庭や地域等における食育を推進します。また、「第3次福島市食育推進計画(仮)」を策定し、さらに食育を進めます。 併せて、「適しおサポーター」の拡大に取り組みます。 (登録施設数 R3:48⇒R4:200)
	特定健康診査等の実施	245,989	国保被保険者の特定検診・保健指導を実施するとともに、医療レセプトデータ等も活用し、生活習慣病重症化予防や健康教育、高齢者のフレイル予防に取り組みます。 (特定検診 R4受診率:45%)
○	定期予防接種の推進	917,794	従来の定期予防接種に加え、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨再開に伴い、接種機会を逃していたH9～16年度生まれの女性に対するキャッチアップ接種を実施します。

(2)地域医療体制の強化

記号	事業名	予算額	説明
○	地域医療確保対策費	342,045	平日夜間、土日祝日及び年末年始における二次救急医療体制を確保するため、救急告示病院等に対し運営費用を補助します。(新たに土曜日午前を対象に追加) また、医師・看護師の確保対策に取り組みます。
	福島県立医科大学との連携(寄附講座)	63,000	市内の二次救急医療機関に福島県立医科大学の医師を派遣し、実地研修や研修医を対象とした研修会の実施により、地域救急医療体制の基盤強化を図ります。
	夜間急病診療所の運営	218,809	夜間における一次救急医療体制を確保するため、内科、外科、小児科の夜間急病診療所を午後7時から翌朝7時30分まで(小児科は午後10時まで)開設します。
	休日救急歯科診療所の運営	29,277	休日の歯科受診に対応するため、日・祝日、年末年始の午前9時から午後5時まで、保健福祉センター内で休日救急歯科診療所を開設します。 併せて、障がい者歯科診療を実施します。
	新型コロナウイルス対策		
	新型コロナウイルスワクチン接種の推進	1,480,731	スピード感をもって3回目接種を進めます。 また、5～11歳の小児接種を福島圏域で連携して実施します。
	医療機関の体制支援	45,585	PCR検査専用外来を運営する医療機関に対して医師確保費用等の助成を行います。 また、感染が疑われる方の検査を実施した医療機関に対して特別給付金を支給します。
	医療機関への物資支援	20,000	医療物資等の調達困難時に備え、市独自に備蓄し供給できる体制を確保します。
	PCR検査	495,500	行政検査、診療・検査医療機関における検査を円滑に実施し、早期発見・早期対応に努めます。

(3) 人生100年時代に対応した高齢者の元気づくり

記号	事業名	予算額	説明
◎	シルバー人材センターICT推進支援	180	シルバー人材センターのICT利活用を促進するため、会員等を対象とした講習会等の実施を支援します。
◎	有償ボランティア立ち上げ支援	250	元気高齢者の活躍の場として、シルバー人材センターが30分程度の軽作業を低料金で行う「有償ボランティア」の立ち上げを支援します。
	地域包括ケアシステムの推進	501,260	高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」(22カ所)を運営します。 また、認知症高齢者やその家族と地域や関係職種との連携を推進する「認知症地域支援推進員」を、地域における支え合いの取り組みを推進する「地域支え合い推進員」を各センターに配置します。
介護人材確保対策推進パッケージ			
	福祉人材定着・離職防止	1,705	事業所に勤務する介護職を対象に、若手・中堅・管理者といった階層別の研修をオンラインで実施します。(R4:30人)
	路線バス等高齢者利用促進	206,412	75歳以上の市民や広域避難者を対象に、市内路線バス及び福島交通飯坂線の運賃無料化を実施します。 (R3.9月現在対象高齢者数:40,341人)

(4) 誰もが安心して暮らせる共生社会の実現

記号	事業名	予算額	説明
○	包括的支援体制の整備	44,814	対象者の属性を問わない包括的な支援体制を整備し、アウトリーチを通じた支援を強化するなど、社会とのつながりが希薄になっている方等の複合化・複雑化した支援ニーズに対応します。
バリアフリー推進パッケージ			
○	心のバリアフリー推進	2,974	「心のバリアフリー」の正しい理解と普及啓発を図るため、バリアフリーパートナーミーティングや出前講座等を実施します。 また、新たにキャッチフレーズを募集するほか、強化月間を策定し発信力を高めます。
○	いきいき! ふくしまマーケット	548	実績のある講師を招き、「売れる商品」を作るためのノウハウを学ぶ講習会を開催します。 また、更なる販路拡大へ向け、福島圏域で行われるイベントに参加します。(3回)
	歩道点字シート等設置	25,000	移動等円滑化推進地区のうち、点字ブロック未整備箇所に点字シート等を整備します。(音楽堂周辺など4路線 L=540m)
○	バリアフリー推進	10,000	バリアフリー事業の実施計画となるバリアフリー基本構想を策定します。(2地区策定) また、バリアフリーマップの更新を行います。
○	計画相談支援の推進	24,000	障がい福祉サービス利用に係るケアマネジメント体制を強化するため、相談支援専門員を雇用する事業所に対し、経費の一部を補助します。(R3:10人⇒R4:20人)
	障がい者施設の整備	140,690	重度障がい者の支援先を確保するため、生活介護事業所の新設費用の一部を補助します。
	障がい福祉サービス	4,912,238	障がい者の自立をはじめ、日常生活や社会参加の支援を行うため、居宅介護や生活介護、就労支援等の事業を実施します。
	自立支援医療	300,971	障がい児・者の心身の障がいを除去・軽減する医療費の自己負担額を軽減します。
	こども発達支援センターの運営	48,007	発達障がい児やその心配がある児童に対する発達相談や、肢体不自由児等に対する生活訓練や機能訓練を行います。
	動物との共生	18,717	野良猫の不妊・去勢手術費用の一部を助成するほか、災害に備えたしつけ方教室を開催する等、動物と共生できるまちづくりを目指します。 また、保健所から犬や猫を譲渡する際に寄生虫や感染症の検査を実施し、マイクロチップを装着します。

(5)多文化共生の推進

記号	事業名	予算額	説明
	国際交流員の配置	6,370	外国青年を国際交流員として配置し、外国人の視点を取り入れた事業の企画・運営や国際交流協会を通じた国際交流活動を実施します。
	国際交流事業支援	2,000	市国際交流協会が実施する国際交流や多文化共生を推進するイベント等を支援します。
	外国人生活相談	4,770	外国人のためのワンストップ生活相談窓口を運営し、多様な相談に対応します。
○	外国のこども日本語サポートの推進	3,057	帰国・外国出身児童生徒が学校生活に適應するための日本語サポーター・母語支援員・コーディネーターの派遣やその親子を対象とした放課後教室等を実施するほか、市内のボランティア日本語教室の活動を支援します。
○	結・ゆい・フェスタ開催	2,400	市国際交流協会と共同で多文化共生イベント「結・ゆい・フェスタ」を開催します。R4は、中心市街地に加え、郊外でのイベント開催等により、共生意識を育む事業を展開します。

5 豊かな文化芸術の振興と発信

(1) 1 「古閑裕而のまち・ふくしま」の取り組みの推進

記号	事業名	予算額	説明
	エールレガシー	34,179	気仙沼市、久慈市との朝ドラ連携プロジェクト「おかえりプロジェクト」として、首都圏での観光物産PRと移住促進プロモーションを実施します。 また、エールドラマセットの継続展示やロケ地・まち歩きマップを作成します。
	古閑裕而のまちおもてなし	21,484	古閑裕而記念館前に無料休憩所を設置するなど、古閑氏をきっかけに本市を訪れた方へのおもてなしの充実を図ります。
○	古閑裕而記念音楽祭、生誕記念コンサートの開催	19,622	豪華ゲストを招いた鑑賞型音楽祭や8月11日の古閑氏の誕生日に合わせた生誕記念コンサートを開催し、古閑氏と音楽を活かしたまちづくりを推進します。
◎	古閑裕而ストリート活用	2,400	サイン看板、メロディーボックス、ARスポット等を整備した古閑裕而ストリートを活用した音楽イベントを開催し、まちなかににぎわいを創出します。
○	ふくしまチェンバー・オーケストラ活動支援	4,628	音楽堂を拠点に活動するプロのオーケストラ「古閑裕而のまちふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動を支援します。 (定期演奏会R3：1回⇒R4：2回)
◎	「古閑裕而作曲コンクール」の創設	18,000	古閑氏が生まれ育ったまちとして、その名を冠した本市独自の作曲コンクールを新たに開催し、「古閑裕而のまち・ふくしま」を全国に向けて発信します。

(2)福島らしい文化芸術の振興と継承

記号	事業名	予算額	説明
	市文化振興条例の策定	300	市民との共創による文化振興条例の策定を進めます。
	「ふくぶん(福島らしい文化)」の発信	5,000	文化施設におけるユニークメニューの展開や、イメージ動画を活用した広報戦略等により、本市固有の文化や歴史の魅力を「福島らしい文化」として広く発信します。
	しゃがむ土偶「ぴ〜ぐ〜」の活用	4,445	各種イベントの開催やファンクラブ「ぴ〜ぐ〜♡会」の活動により、「しゃがむ土偶」を福島のスターとして広く発信し、観光振興や交流人口の拡大につなげます。
	じょーもぴあ宮畑活用推進	10,770	宮畑遺跡の魅力を発信するため、校外学習への活用を図るとともに、地域住民との共創による多彩なイベントを開催します。
	民家園活用推進	75,936	民家園内の古民家等の計画的な点検及び修繕を実施するとともに、地域住民との共創による園内行事を開催し、民家園の魅力を市内外へ積極的に発信していきます。
○	写真美術館活用推進	42,552	春の花見山観光シーズンに合わせて写真展を開催するなど本市文化芸術のさらなる発展を図るとともに、市指定文化財である施設の適正な保護・保存と活用を図ります。

6 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築

(1) 脱炭素社会の実現

記号	事業名	予算額	説明
	環境に配慮した公用車の配備	21,235	電気自動車やハイブリッド車の導入を進めます。(R4:EV2台、HV6台)
○	環境基本計画の推進	1,292	脱炭素化に向けた取り組みやごみの減量化など環境に関する内容を広く発信するポータルサイトを開設し、行動変容を促します。
	ふくしま環境フェスタ	1,200	地球温暖化防止や再生可能エネルギー等に関するイベントを行います。
◎	再生可能エネルギー(小水力)導入促進	1,000	小水力発電導入可能性調査を実施する県内事業者に対し、補助金を交付します。(補助率1/3、上限50万円)
	次世代エネルギーパークの推進	718	施設見学の実施やリーフレットの改訂を行い、再生可能エネルギーについて情報発信をします。
○	電気自動車急速充電器の改修	1,551	道の駅つちゆに設置している電気自動車用急速充電器を改修し、キャッシュレス決済にします。
◎	水素社会実現の推進	2,298	水素エネルギーの普及啓発イベントを開催します。また、水素自動車(FCEV)の導入費用に対して補助金を交付します。(最大20万円)
	脱炭素住宅整備促進	33,400	家庭における太陽光発電システムや蓄電池、電気自動車充電設備(V2H)、ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)の設置費用の一部を助成します。
	再生可能エネルギー等施設整備資金利子補給	1,841	中小企業の再エネ・省エネ設備の導入費用にかかる利子の一部を補助します。

(2) 循環型社会の構築

記号	事業名	予算額	説明	
	ごみ減量化促進対策	17,411	市民1人1日当たりの生活系ごみ排出量(資源物除く)を530g以下とすることを目標に、ごみの減量化・資源化を促進します。	
	あぶくまクリーンセンター焼却工場の再整備	36,063	あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備に向け、環境影響評価や発注者支援業務を行います。 (環境影響評価業務)	
			全体事業費(継続費分)	195,000千円
			R元	17,550千円
			R2	128,700千円
			R3	37,050千円
			R4	7,800千円
			R5	3,900千円
	(発注者支援業務)	全体事業費(継続費分)	52,000千円	
	R3	10,500千円		
	R4	25,500千円		
	R5	16,000千円		
○	あぶくま・あらかわクリーンセンター運営	56,369	資源化工場の一部業務を民間へ委託します。	
◎	果樹剪定枝活用実証実験	650	果樹生産者と剪定枝をまきストーブ等で有効利用する方をマッチングします。また、市内の教育機関や農業者団体との共創により、剪定枝を炭に変え、土壌改良材として活用する方法を検証します。	
	森林経営管理計画の推進	21,090	森林を適切に管理するため、森林所有者に対する意向調査を実施し、経営管理集積計画を作成します。また、森林や林業を身近にするための普及事業を行います。	

(3)環境の保全

記号	事業名	予算額	説 明								
○	ムクドリ・カラス対策	2,030	特殊なLED照明で中心市街地のムクドリ追い払いを実施します。 また、福島駅東口にカラスの嫌がる音声再生装置を設置し、カラスを追い払い、街なかのフン害対策を講じます。								
	ごみ集積所 適正管理の推進	620	ごみ集積所のごみ散乱を防止し、地域環境の美化及びごみ処理の適正化を推進します。								
	衛生処理場の整備	636,522	衛生処理場単独稼働に向けて、場内施設の改造を行います。								
			<table border="1"> <tr> <td>全体事業費 (継続費分)</td> <td>1,341,800千円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>695,880千円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>636,522千円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>9,398千円</td> </tr> </table>	全体事業費 (継続費分)	1,341,800千円	R3	695,880千円	R4	636,522千円	R5	9,398千円
全体事業費 (継続費分)	1,341,800千円										
R3	695,880千円										
R4	636,522千円										
R5	9,398千円										

7 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現

(1)「人」と「活力」があふれる農業の実現

記号	事業名	予算額	説 明
	鳥獣被害等対策事業 イノシシ捕獲対策	27,600	イノシシ捕獲頭数に対し、補助金を交付します。 (1,200頭)
◎	鳥獣被害対策 実施隊員の確保	300	狩猟免許を取得し実施隊に加入する方に対し、免許取得経費の一部を助成します。
	福島大学食農学類連携	2,420	市農産物のマーケティング調査に地域と大学が連携して取り組むほか、果実の硬度や成分分析調査等を行います。
	農地集積支援 農地流動化支援	4,700	農業経営基盤強化促進法により、経営規模拡大のため新たに農地を取得、または賃借した農業者へ支援金を交付します。
◎	地域を守る集落営農 組織支援	300	農作業受託によって地域の農地を集積した営農組合に対し、集積面積に応じて補助金を交付します。
	担い手の確保 農業次世代人材育成	81,425	新たに独立して農業経営を行おうとする農業者に対し、機械等導入及び経営開始資金を交付します。 (経営開始資金 最大150万円) (機械等導入費 補助率 3/4 最大750万円)
○	新規就農拡大推進	10,336	兼業就農や親元就農者、農業法人等に就農時初期費用などの一部を助成します。 また、インターンシップサイトを活用し、新規就農者に対する農業体験の拡充や指導者(メンター)のマッチングを促進します。
	新規就農者オンライン相談	250	新規就農希望者に対し、関係機関や農業者による相談業務をオンラインで実施します。
	経営継承・発展等支援	5,000	認定農業者等の先代事業者から経営を譲り受けた後継者の経営を発展する取り組みに対し、補助金を交付します。
	スマート農業推進	500	福島市スマート農業検討会を開催し、本市農業における普及推進や実証実験等を実施します。
	農業経営安定化支援	4,700	農業者が加入する収入保険と果樹共済の掛け金の一部を助成します。(補助率:保険料の5% ただし認定農業者は10%)
◎	福島米消費喚起	6,000	市内小・中・特別支援学校で提供される小麦パンを米粉パンに替える際の追加費用を補助し、福島型給食の推進と福島米の消費喚起につなげます。
	スイーツ・プレミアム	14,700	本市農産物等を使用したスイーツを「ふくしまスイーツ・プレミアム」としてブランディングします。
	市場施設再整備計画	18,968	市場全体の再整備に向けた基本計画策定等を行います。
◎	市場開設50周年 記念イベント開催	1,798	市場開設50周年記念式典と市場まつりを開催します。

(2)「人」と「活力」があふれる商工業の実現

記号	事業名	予算額	説明
○	若手ものづくり後継者育成	1,000	R4から「マスタークラス」を追加し、製造業の後継者を対象に「ものづくり夢創塾」を実施します。
○	新たなビジネスモデル創出支援	50,000	「新事業・創業支援枠」、「デジタル化推進枠」、「感染防止対応枠」を設け、新しい生活様式に対応するための費用の一部を補助します。(補助率2/3 上限300千円 ほか)
	医産連携推進	20,056	市内中小企業が実施する医療福祉機器関連の製品化や研究開発の費用の一部を補助します。(補助率2/3 上限5,000千円)
◎	特定集積産業事業拡大・強化支援	15,000	地場企業が行う市内への新たな工場建設や製造設備等の整備に要する費用の一部を補助します。
	企業立地促進	10,293	首都圏等への企業訪問、各企業展示会への出展、Webメディア等への広告配信やオンライントップセールスによる企業立地セミナーを開催します。
	福島おおぞうインター工業団地の第2期整備	50,400	「福島おおぞうインター工業団地」第2期整備事業実施設計を行います。
	中小企業信用保証料補助	39,300	信用保証料の一部を補助します。(中小企業一般融資利用者 補助率50%・県起業家支援保証制度利用者 補助率80%)
創業応援利子補給パッケージ			創業融資に係る利子を1年間(中心市街地での創業は2年間)補助します。
○	創業応援利子補給	4,090	R4からは、第二創業者(2年間)を対象者として追加します。
◎	ふくしまフィールド人材交流支援	1,000	首都圏からクリエイターを招き、「ふくしまデザインフェア」や「ふくしまクリエイターズショップ」を開催します。
○	「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援	13,657	本市内へのオフィス開設等に係る費用の一部を補助し、温泉、農業、果物が満喫できる「ゆとり満喫エールパスポート」を併せて贈呈します。R4からは、支社開設・オフィス賃料を補助対象として追加します。

(3)就労支援と雇用の創出

記号	事業名	予算額	説明
○	働く女性応援企業認証	1,167	女性が活躍できる職場づくりや、仕事と家庭の両立に対する支援を積極的に行う中小企業を本市独自の基準で認証し、広く公表します。また、更新手続き時に一定の要件を満たす認証企業に、ゴールドプレートを贈呈します。(認証企業数51社)
	そろそろ働きたい女性の就職準備支援	2,000	結婚や出産等で退職した女性向け合同企業説明会を開催し、就職希望者と企業とのマッチングの支援を行います。

(4)産業の基盤となる道路交通ネットワークの整備

記号	事業名	予算額	説明
	太平寺岡部線(御山町工区)	277,500	学法福島高校から国道13号までの区間の用地補償等を行います。(全体計画 L=450m)
	御山町信夫山線(狐塚工区)	26,700	太平寺岡部線(御山町工区)から信夫山へのアクセスルートの用地補償等を行います。(信夫山ストリート関連)(全体計画 L=60m)
	【3月補正前倒し分】	(2,000)	※費用の一部を3月補正に前倒しします。

8 福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり


(1)福島駅前再開発と交流・集客拠点施設整備の推進

記号	事業名	予算額	説明
○	福島駅東口地区市街地再開発事業	5,038,000	県都ふくしまの顔となる官民連携による再開発事業を推進し、R4は解体工事等に着手します。
	福島駅前交流・集客拠点施設整備事業	32,071	福島駅東口地区市街地再開発と連携し、施設の実施設計を進めるとともに、運営候補者の公募・選定準備を行います。

(2)街なかの魅力と回遊性の向上

記号	事業名	予算額	説明														
○	街なかにぎわい創出	46,928	旧中合福島店に設置していた「街なか交流館」の機能をエスタビル地下1階に移設し、再オープンします。 また、若者の街なかでの活動促進に取り組みます。														
○	商店街等活性化イベント支援	40,000	商店街等が実施するイベント経費の一部を補助します。 (補助率1/2 上限 500千円 ほか) また、パセオ通りを中心としたイベントを開催し、賑わいを創出します。														
○	街なか空き店舗入居者家賃補助	76,483	中心市街地等の空き店舗に出店する際の家賃の一部を補助します。 空き店舗重点対策地域については、階層と業種の制限を大幅に緩和(2階以上やオフィスも対象)し、街なかでの新規創業や事業拡大を支援します。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>対象エリア</th> <th>区分</th> <th>1年目補助率</th> <th>2年目補助率</th> <th>3年目補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中心市街地 (空き店舗重点対策地域)</td> <td>1号店 (新規創業)</td> <td>10/12</td> <td>7/12</td> <td>4/12</td> </tr> <tr> <td>2号店以降</td> <td>8/12</td> <td>6/12</td> <td>4/12</td> </tr> </tbody> </table>	対象エリア	区分	1年目補助率	2年目補助率	3年目補助率	中心市街地 (空き店舗重点対策地域)	1号店 (新規創業)	10/12	7/12	4/12	2号店以降	8/12	6/12	4/12
対象エリア	区分	1年目補助率	2年目補助率	3年目補助率													
中心市街地 (空き店舗重点対策地域)	1号店 (新規創業)	10/12	7/12	4/12													
	2号店以降	8/12	6/12	4/12													
○	(仮称)市民センター整備	410,354	老朽化した中央学習センター、敬老センター、市民会館の一部の機能を統合・複合化し、市民交流機能、議会機能、防災機能を有する「(仮称)市民センター」の整備を進めます。R4は、建築工事等に着手します。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>全体事業費 (継続費分)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>406,454千円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,433,258千円</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>4,547,276千円</td> </tr> </tbody> </table>	全体事業費 (継続費分)		R4	406,454千円	R5	1,433,258千円	R6	4,547,276千円						
全体事業費 (継続費分)																	
R4	406,454千円																
R5	1,433,258千円																
R6	4,547,276千円																
◎	まちなか広場の運営	7,265	まちなか広場をリニューアルオープンします。 (供用開始：8月)														
○	ももりんシェアサイクル運営	21,077	サイクルポートの増設や、回数券に新たなプランを追加します。 また、自転車の再配置の回数を増やすなど、シェアサイクルのサービス向上を図り、さらなる利用促進を目指します。 (貸出場所：12カ所⇒15カ所程度)														

(3)福島らしさがあふれる観光の振興

記号	事業名	予算額	説明
◎	「ふくしまステイ。」プロモーション 	15,000	本市の新たな滞在スタイル「ちょうどいい旅、ふくしまステイ。」を活用した誘客プロモーションを実施します。新ブランドのイメージ定着化、体験コンテンツ・旅行商品・オンラインツアーの造成、首都圏向けのプロモーションを実施します。
	フィルムロケ誘致支援	4,086	本市の知名度やイメージ向上を目的に、映画やテレビ等のロケ誘致・支援に取り組みます。(R2 ロケ実施件数 10件)
○	ふくしま花回廊推進	2,310	花観光による来訪者の増加を目的に、本市にある花回廊スポットの中から、テーマ別お勧めスポットを作成し、魅力を発信していきます。(R3 花回廊スポット 24カ所)
◎	あづまエリアツーリズム推進	3,500	米沢市と連携して吾妻連峰プライベートツアーの造成を行います。(造成本数5種類×20本) また、吾妻連峰登山道の整備、あづまエリアの魅力発信を行います。
◎	福島三名湯ブランディング	6,000	飯坂、土湯、高湯の各温泉地が長期的視点を持って取り組むブランディング事業の費用の一部を補助します。 (補助率 2/3 上限額3,000千円)
◎	飯野ふれあい施設(UFO館)30周年	5,000	新たな誘客コンテンツとしてVR動画を作成します。 また、コンタクトデッキに宇宙とのつながりをイメージしたサーチライトを設置します。(R2施設利用者数 9,158人)
◎	福島圏域道の駅等デジタルスタンプラリーの実施【R3.12月補正で計上済分】	23,203 (21,000)	R4.3月~7月は、デジタルエールポイント×花回廊、8月~11月は福島圏域内9市町村が連携し、各施設においてデジタルスタンプラリーを開催します。

(4)個性ある地域づくりの推進

記号	事業名	予算額	説明
○	共創のまちづくりの推進	796	地域における「多様な主体間の連携」の促進に重点を置き、地域としての新たな魅力や価値を市民・行政が力を合わせ共に創りあげていくための各種事業を展開します。
○	地域コミュニティ等の支援	18,132	地域ごとの主体的な取り組みにかかる経費の一部を補助します。また、各地区の令和3年度の健康づくりの取り組み実績に応じて、まちづくり交付金を配分します。
○	地域おこし協力隊活用	18,171	本市において地域おこし協力隊として活躍する人材への支援を継続するとともに、新たな人材を積極的に誘致します。 (R3:3地区⇒R4:5地区)

(5)スポーツのまちづくり

記号	事業名	予算額	説明
○	パラスポーツ振興	1,375	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場したパラアスリート等を学校に派遣し、共生社会の推進を図るとともに、ポッチャ体験会、交流大会のほか市長杯を開催します。 (R3:交流大会1回⇒R4:交流大会2回、市長杯1回)
◎	ふくしまシティハーフマラソン大会イベントの開催	3,300	令和5年度にリニューアルを予定している「ふくしまシティハーフマラソン大会(仮称)」のプレイベントを開催し、著名人を招いてコース紹介などを行います。
	スポーツコミッションの運営	3,238	合宿や大会の受け入れやパラスポーツ推進、スポーツ参画機会の提供を担うスポーツコミッションの運営を支援します。
	スポーツ施設の管理運営・整備	642,030	スポーツ施設の管理運営(42施設)や老朽化等した施設(信夫ヶ丘競技場、十六沼公園スポーツ広場、同公園スケートボードパーク含む8施設)の改修を行います。


9 移住定住に向けた支援・受入体制の強化

(1)移住・定住に向けた支援・受入体制の強化

記号	事業名	予算額	説明
○	ふくしま定住推進	2,070	首都圏等で開催されるセミナー等への出展や、民泊施設を活用した移住体験事業等を実施します。
○	移住新生活応援	10,943	移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行います。R4は1世帯あたりの上限額を見直し、対象世帯数を拡充します。(県外:上限10万円、県内:上限5万円) また、市の支援メニューを活用した移住者へは、特典として湯めぐりパスポートを贈呈します。
○	UIJ ターン移住支援	12,900	東京23区の在住者等が本市へ転入し、県のマッチングサイトに掲載の中小企業へ就職した場合等に、補助金を交付します。
◎	空家等対策推進	13,530	空き家の発生予防のための普及啓発や、管理不全空き家等への措置、機能を拡充した空き家バンクを積極的に活用し、空き家の解消と利活用に取り組みます。

10 市民総活躍と市民共創のまちづくり

(1)女性が活躍できる地域社会の形成

記号	事業名	予算額	説明
◎	ふくしま起業女子応援パッケージ 	500	起業にチャレンジしたい女性を対象とした講座を開催するとともに、起業相談や起業体験など継続的にサポートできる仕組みを作ります。
○	ひとり親家庭自立支援	14,767	ひとり親家庭の自立促進と生活安定を図るため、資格取得費用等の一部を助成します。 (自立支援教育訓練給付金 R3:6割助成⇒R4:10割助成)

(2)共創によるまちづくりの推進

記号	事業名	予算額	説明
◎	公立夜間中学の開設	300	県内初の公立夜間中学のR6.4月開校を目指し、講演会や説明会を開催します。


11 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上

(1) 新たな施策への挑戦と発信

記号	事業名	予算額	説明
	福島市応援関係人口創出	5,807	福島市ゆかりの会及び東京ふくしま笑面会への加入を促進するとともに、交流会「東京福島市のつどい」を開催します。
○	ふるさと納税促進	674,938	賛同と共感を得ながらふるさと納税による本市への寄附を促進し、寄附額14億円を目指します。 (R3当初：10億円⇒R4当初：14億円)
○	シティセールス推進	2,884	市民自らが本市の魅力を外に向けて発信できるように、市民の意識醸成を図りながら、市民巻き込み型の情報発信事業を実施します。
○	市ホームページの充実	3,333	令和3年度に市のホームページに導入したチャットボット及び内部検索システムを運用するとともに、ホームページのウェブサイト診断を実施します。

12 ICTを活用した行政・経済・社会の変革

(1) ICTを活用した行政の変革

記号	事業名	予算額	説明
○	オンライン会議の運用	2,940	本市のオンライン会議に必要な機器等を増設し、利用環境の拡充を図ります。
◎	動画配信・web会議システムの導入	15,938	イベントや研修会などの動画を作成・配信・閲覧できる動画配信システム及び大人数でも安定かつ確実に稼働するweb会議システムを構築します。
	RPAの推進 	10,000	パソコン上の事務処理を自動的に行うプログラムの導入対象事業を拡充します。
	AI-OCRの推進	2,392	紙媒体の帳票に書かれた文字を読み取ってデータ化するシステムを運用します。
	次期基幹システムの構築	285,439	住民記録や税、国民健康保険等、市の業務の基幹となる情報を管理するシステムの更新を行います。
	文書管理システムの運用	24,144	文書のデータ化、電子決裁、文書のデータ保存管理ができる文書管理システムを運用します。
○	ICT人材の育成	3,578	本市の積極的なデジタル技術活用を進めるため、職員のICT研修を拡充し、ICT人材の育成を図ります。
◎	自治体オンライン手続の推進	16,272	マイナンバーカードを用いたマイナポータルからのオンライン手続きに対応するため、申請管理システムを構築します。
◎	電子入札システムの導入	56,589	コロナ禍や災害時にあっても入札を継続するため、また、応札者の利便性の向上を図るため、電子入札システムを導入します。

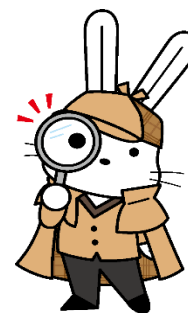
(2) ICTを活用した経済・社会の変革

記号	事業名	予算額	説明
	公共施設予約システムの運用	28,126	令和3年度にスポーツ施設や文化施設等へ導入したキャッシュレス決済を含む公共施設の予約システムを運用します。
◎	デジタル活用支援講座の開催	2,460	デジタル活用になじみのある高齢者等を対象に、スマートフォン等の使い方や市のデジタル行政サービスの利用について学べる体験型の講座を開催します。 また、地域の中で、高齢者等にスマートフォン等の使い方について助言や相談等の支援ができるシニアICTサポーターを育成する講座を開催します。
○	LINEの活用	7,969	市LINE公式アカウントに、来場者を時間単位で分けて受け付けることができる予約機能を追加します。
○	電子町内会ウェブサイトの構築	3,966	電子町内会のウェブサイトを構築し、単位町内会のウェブサイト作成を支援します。
	幼稚園・保育所等業務のICT化	14,573	保護者との連絡や登降園情報などを一元管理できる「業務支援システム」を運用します。
◎	電子図書館の開設	47,400	市民のライフスタイルに合わせた利用ができるよう、電子図書館を開設します。(電子書籍8,000タイトル前後)

○ 議 会

1 議員数

- ① 条例定数 35人
- ② 福島市議会議員定数条例（平成14年条例第15号）
- ③ 平成27年7月12日の一般選挙から施行



2 構成

(1) 会派別 (令和4年4月1日現在)

会 派 名	会派呼称	人 数
真 政 会	真 政 会	9人
真 結 の 会	真 結 の 会	8人
ふくしま市民21	市 民 2 1	6人
公明党福島市議団	公 明 党	4人
日本共産党福島市議会議員団	日本共産党	4人
耀ふくしま市議団	耀ふくしま	3人
無所属	-	1人
合 計		35人

(2) 年齢別・当選期数別 (令和4年4月1日現在)

年齢 期数	25～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	計
1 期	-	-	1人	2人	2人	-	5人
2 期	-	-	3人	1人	3人	-	7人
3 期	-	-	1人	1人	3人	-	5人
4 期	-	-	1人	4人	4人	1人	10人
5 期	-	-	-	1人	3人	1人	5人
6 期	-	-	-	-	1人	1人	2人
8 期	-	-	-	-	-	1人	1人
計	0人	0人	6人	9人	16人	4人	35人

平均年齢
(59.7歳)

3 常任委員会

(令和4年4月1日現在)

名 称	定数	現員	所 管 事 項
総 務	9人	9人	議会、危機管理室、政策調整部、総務部、財務部、会計課、消防本部、監査委員、選挙管理委員会及び公平委員会の所管に属する事務並びに他の所管に属しない事務
文 教 福 祉	9人	9人	教育委員会、健康福祉部及びこども未来部の所管に属する事務
経 済 民 生	9人	8人	商工観光部、農政部、農業委員会及び市民・文化スポーツ部の所管に属する事務
建 設 水 道	8人	8人	環境部、建設部、都市政策部及び水道局の所管に属する事務

※議長は委員会所属を辞退

4 議会運営委員会

(条例化 平成3年6月21日)

- ① 委員定数 11人
- ② 議会運営の円滑を図るため設置する
- ③ 構成員が3人以上の会派の構成員数により案分し選出



5 特別委員会

(令和4年4月1日現在)

名称	設置目的	構成員
複合市民施設に関する調査特別委員会	風格ある県都を目指すまちづくり構想における複合市民施設としての(仮称)市民センターの建設設備、管理運営手法にかかる調査を行うため。	11人

6 地方自治法第100条第12項に基づき設置される協議・調整の場

(令和4年4月1日現在)

名称	設置目的	構成員
福島市議会全員協議会	福島市議会基本条例第12条の規定に基づき、同条例第19条第2項の規定により重要な政策等に関する事項について協議又は調整を行うため。	全議員
福島市議会委員協議会	福島市議会基本条例第12条の規定に基づき、各常任委員会及び特別委員会の所管事項に関する事項について協議又は調整を行うため。	常任委員会及び特別委員会に属する委員
代表者会	福島市議会基本条例第13条第6項の規定に基づき、会派、議員の身分、各種委員に関する事その他必要と認める事項について協議又は調整を行うため。	議長、副議長及び会派代表者
福島市議会政務活動費検討会	政務活動費に関する協議又は調整を行うため。	各会派から選出された議員
福島市議会広報委員会	福島市議会基本条例第16条第7項の規定に基づき、議会広報紙等の充実、市民との情報共有の推進等の充実に関する事項について協議又は調整を行うため。	各会派から選出された議員
福島市議会政策討論会	福島市議会基本条例第23条の規定に基づき、市政に関する重要な政策及び課題に関する協議又は調整を行うため。	全議員
福島市議会改革検討会	福島市議会基本条例第25条第1項の規定に基づき、議会改革に関する協議又は調整を行うため。	各会派から選出された議員
福島市ICT活用検討会	タブレット端末の活用及びペーパーレス化の推進に関する協議又は調整を行うため	各会派から選出された議員

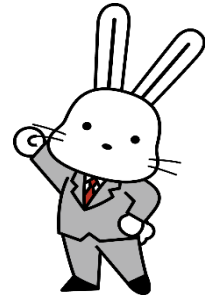
7 予算・決算・補正予算の審査方法

- (1) 予算 ※3月定例会議において、新年度の当初予算審査
 - ① 議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、議案付託を行っている
 - ② 常任委員会を単位とする分科会を設置し、議案付託を行っている
 - ③ 原則、分科会にて審査後、特別委員会にて自由討議、討論を経て採決を行っている
- (2) 決算 ※9月定例会議において、前年度の決算審査
 - ① 議長及び監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、議案付託を行っている
 - ②及び③については、予算と同様
- (3) 補正予算

9月、12月、翌年3月、6月定例会議及び緊急会議において、歳入歳出とも各常任委員会へ分割付託を行っている

8 質 疑 ・ 質 問

- ① 代表質問は総括質問方式(一括質問・一括答弁)で行っている
- ② 一般質問は一問一答方式(質問ごとに答弁)で行っている
- ③ 本市では質問に含めて、議案質疑も行われる
(先議議案及び追加議案は議案質疑として行われる)



- (1) 質問通告期限 定例会議初日の翌日午前11時まで
- (2) 質問順序 代表質問(各会派1名) 多数会派順(所属議員同数の場合は輪番)
一般質問(無制限) 抽 選
- (3) 質問回数及び時間制限
 - 代表質問(総括質問方式)
 - ・3月定例会議 60分以内(答弁を除く)
 - ・市長・議員改選後初定例会議 30分以内(答弁を除く)
(再質問、再々質問はいずれも答弁時間を除き10分以内)
 - 一般質問(一問一答方式) 60分以内(答弁時間を含む)
(関連質問は答弁時間も含め10分以内)

9 議 会 開 催 状 況

【令和3年1月1日～令和3年12月31日】

区 分	会 議 期 (日)	本 会 議 日 数	提 出 議 案 数						質 問 者 数			
			市 長	議 会 (議 員 、 委 員 会)				計	代 表	一 般	そ の 他	計
				条 例	意 見 書	決 議	そ の 他					
3月定例会議	25	9	60	1	3	-	1	65	6	12	-	18
6月定例会議	21	6	29	-	6	-	-	35	-	12	-	12
9月定例会議	21	5	27	-	2	-	-	29	-	13	-	13
12月定例会議	18	6	42	1	2	-	1	46	6	10	-	16
1月緊急会議	1	1	2	-	-	-	-	2	-	-	-	0
8月緊急会議	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	0
12月緊急会議	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	0
合 計	88	29	162	2	13	0	2	179	12	47	0	59

10 報 酬

【単位：円】

区 分	報 酬 額	改 定 前 の 額	改 定 年 月 日	区 分	報 酬 額	改 定 前 の 額	改 定 年 月 日
議 長	682,000	703,000	平成22年 4月1日	市 長	1,047,600	995,300	平成31年 4月1日
副 議 長	635,900	655,500		副 市 長	865,700	839,800	
議 員	599,000	617,500		水 道 事 業 管 理 者	783,300	767,700	
			教 育 長	783,300	767,700		
			常 勤 監 査 委 員	654,300	641,300		

11 政 務 活 動 費

(平成13年4月1日施行)

会派(議長が別に定める政務活動費請求会派を含む)に対し、所属議員数×月額10万円

12 行 政 視 察 旅 費

- (1) 常 任 委 員 会 1人年額 200,000円 (平成12年4月1日改定)
- (2) 議 会 運 営 委 員 会 1人年額 170,000円 (平成4年4月1日改定)
- (3) 特 別 委 員 会 1人年額 120,000円 (昭和63年4月1日改定)

13 費 用 弁 償 等

(平成17年4月1日改定)

本会議または委員会の招集に応じた議員の居住地から議事堂までの距離により支給
4km未満 1,000円、4km以上8km未満 1,500円、8km以上 2,000円
※公用車を使用した場合には支給しない

14 福 島 市 議 会 基 本 条 例

(平成26年4月1日施行)

【制定までの経過】

平成24年6月22日	議会基本条例策定特別委員会を設置(委員数17人) (以降、平成26年2月26日まで合計31回特別委員会を開催)
平成25年11月1日~12月2日	福島市議会基本条例(素案)に関するパブリック・コメントを実施
平成25年11月10日	福島市議会基本条例(素案)に関する市民報告会を実施
平成26年3月27日	福島市議会基本条例を平成26年福島市議会3月定例会に上程、可決
平成26年4月1日	福島市議会基本条例施行

【基本方針の三本柱】

「市民に開かれた議会」

市民が積極的に議会に参加するためには、議会活動の公開が前提となることから、公平性、公正性及び透明性を高めるとともに、議会活動への市民参加の機会を多様に市民に開かれた議会の実現を目指します。

「議員間の自由闊達な議論、討議を行う議会」

二元代表制の下、合議制の機関としての特性を生かし、議員間の自由闊達な議論及び討議を行うことにより、多様な意見の中から市政の課題に対する論点及び争点を明確にし、合意形成を図る議会の実現を目指します。

「政策立案や政策提言を積極的に行う議会」

市長その他の執行機関との緊張ある関係を保ちながら、議会の体制の充実及び立法機能の強化を図り、政策立案及び政策提言を積極的に行い、市民の意思を的確に市政に反映させる議会の実現を目指します。



【新たな取り組み】

「通年議会（通年会期）」

福島市議会の会期は通年とし、8月1日から翌年の7月31日までです。「福島市議会の会期等に関する条例」の制定については、平成26年6月定例会において可決し、平成26年8月1日から施行しました。

※通年の会期とは、定例会や臨時会の区分を設けず、毎年、通年とするための「福島市議会の会期等に関する条例」で定める日から翌年の当該日の前日まで（1年間）を会期とするものです。

「災害対応」

東日本大震災の被災地としての経験・教訓を踏まえ、大規模災害時において、被災市民の救援と災害復旧のために、非常事態に即応した議会の活動方針について定めます。

「会議の公開と傍聴手続きの簡素化」

議会の情報を公開し、市民との情報共有を図るとともに、透明性の確保等の観点から、秘密会とする場合などを除き、本会議や常任委員会、特別委員会を原則として公開で行うとともに 傍聴手続きの簡素化に努めます。

「情報の共有と公開」

開かれた議会を目指すため、市民との情報の共有及び積極的な情報公開に努めます。

「議会報告会の開催」

市民との信頼関係を確保するため、市民への説明責任を果たし、議会活動や市政に関する情報を市民と共有することが必要なため、議会は、自らが地域に出向き、直接市民に対し、議会で行われた議案等の審査における議論の経過や審査結果等の内容について報告する議会報告会を開催します。なお、議会報告会は、決算を審議する定例会議の終了後及び当初予算を審議する定例会議の終了後に開催する予定です。

「意見交換会の開催」

福島市議会では、より市民に開かれた議会を目指して、市民との意見交換会を開催しており、委員会が具体的なテーマを設けて実施する方式と議会報告会と併せて自由なテーマで実施する方式の2通りの方式にて実施しています。

「反問権」

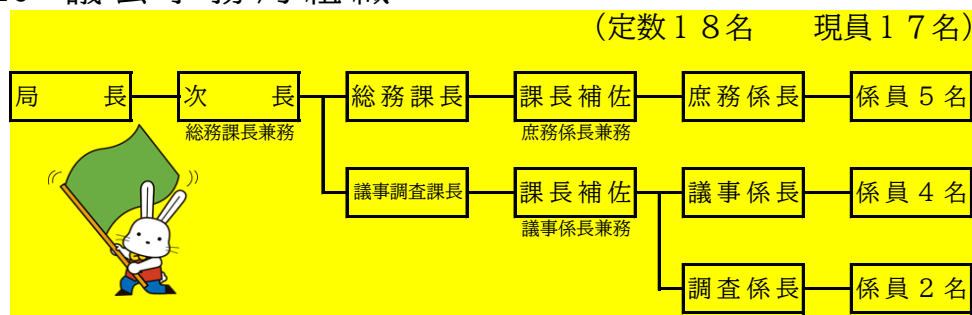
本会議や委員会において論点を明確にして議論を深める目的で、市長等が議員の質問の趣旨を確認するための反問ができるようになります。

反問には議員の考え方を問い返したり、対案の提示を求める反論も含まれます。

「市民参加の推進」

市民との意見交換や意見聴取の場を多様に設けるとともに、広く市民の意見及び知見を審議等に反映させるため、公聴会制度及び参考人制度の積極的な活用を努めます。

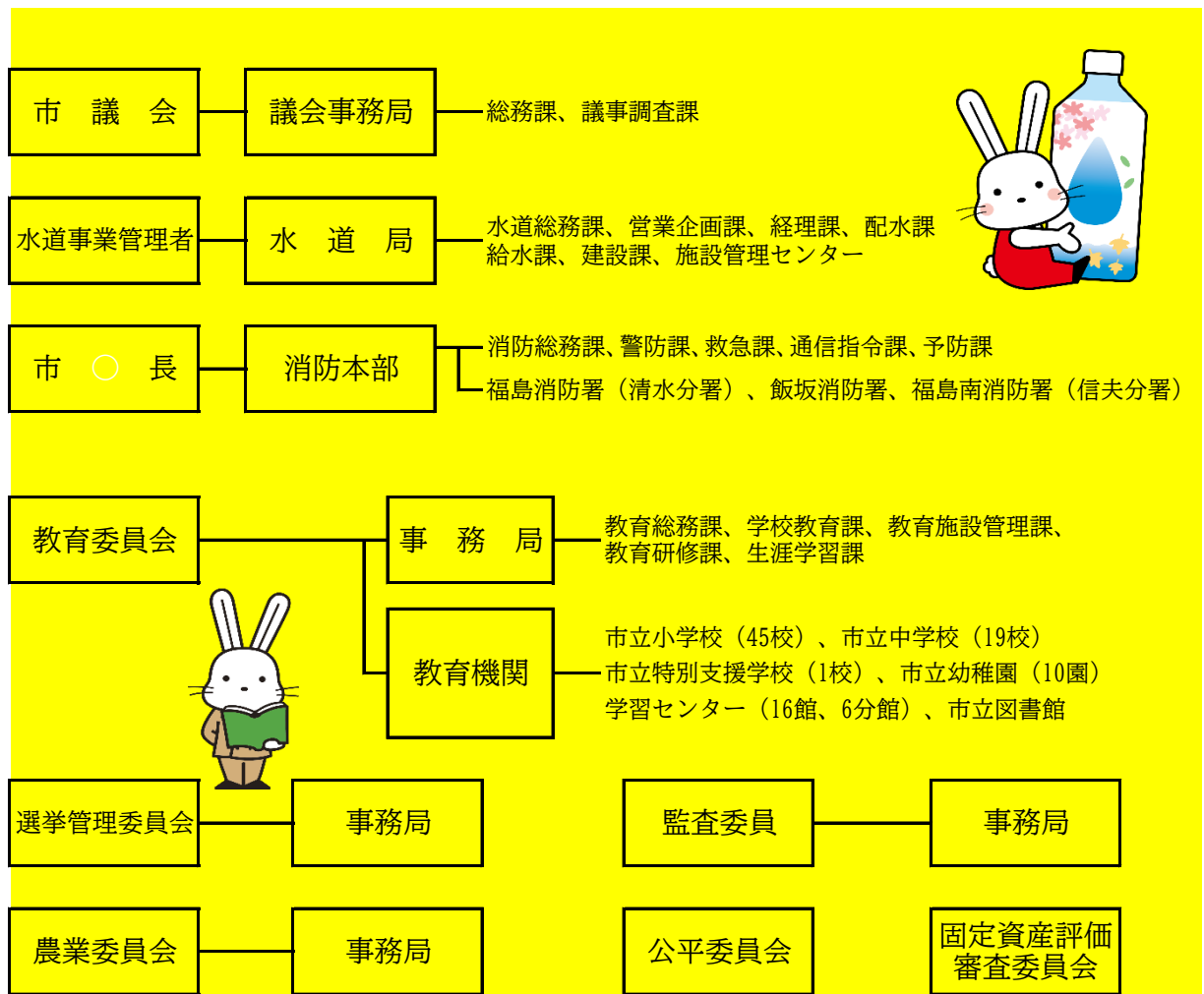
15 議会事務局組織



福島市組織機構図

【令和4年4月1日現在】





<市の職員数>

【令和3年10月1日現在】

区 分	定数	現員数	区 分	定数	現員数
市長部局	1,498人	1,480人	農業委員会	20人	13人
議会事務局	18人	17人	消 防	290人 (注)	278人
教育委員会	459人	277人	水 道 局	233人	94人
選挙管理委員会	8人	7人	公平委員会	2人	(2) 人
監査委員事務局	8人	7人	合 計	2,536人	2,173人

(注) このうち地方自治法による派遣職員(1名)及び初任教育中の職員(12名)は定数外である。
また、教育長は職員数より除き、カッコ内の人数は併任となっている。

行政視察対応一覧（令和3年度）



No.	月日	来訪市町村議会	議員	書記	当局	計	調査事項
1	7/8	宮城県松島町 委員会	7	1	0	8	ICTを活用した保育施設の運営について
2	11/16	島根県益田市 会派	6	0	0	6	地域振興施設「道の駅」整備事業について
3	11/9	山梨県富士吉田市 会派	4	0	0	4	議員の災害時対応行動マニュアルについて
4	11/12	茨城県守谷市 委員会	10	2	0	12	議会基本条例の検証について
5	11/11	新潟県長岡市 その他	8	1	2	11	中核市移行に関すること
合計			35	4	2	41	委員会 2件 ・ 会派 2件 ・ その他 1件

意見書・決議一覧（令和3年1月1日～令和3年12月31日）

議決議会	意見書等名
3月定例会議	新型コロナウイルス感染症のリスク低減と今後のまちづくり施策の推進を求める意見書
	地方自治体のデジタル化の推進を求める意見書
	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書
6月定例会議	新たな感染症発生に対するワクチンや治療薬等の研究・開発への支援の強化を求める意見書
	東京電力福島第一原子力発電所構内保管の多核種除去設備等処理水の海洋放出に関する意見書
	凍霜害被害による営農継続・再建への支援を求める意見書
	地方財政の充実・強化を求める意見書
	選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書
	被災児童生徒就学支援等事業の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書
9月定例会議	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
	新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制の強化及び影響を受けている事業者へのさらなる支援等を求める意見書
12月定例会議	2021年産米価格下落に伴う米政策への対策を求める意見書
	原油価格高騰に対し国民生活を守るための施策を講ずることを求める意見書



福島市民憲章

わたくしたちは、みどりにつつまれた信夫山と清い流れの阿武隈川をもつ福島市民です。

福島市は、地味豊かなしのぶの里に古くから開けた人情の美しい町です。

わたくしたちは、平和で、さらに住みよく希望にみちたまちをつくるためこの市民憲章をさだめます。

- 1 空も水もきれいな 緑のまちをつくりましょう。
- 1 教育と文化を尊び 希望に輝くまちをつくりましょう。
- 1 親切で愛情あふれるまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、力を合わせて 楽しく働けるまちをつくりましょう。
- 1 子どもからおとしよりまで安全で健康なまちをつくりましょう。

福島市議会の概要 令和4年度

初版 令和4年4月1日